

★ 生産日誌（栽培・出荷・防除記録）の記入と提出について ★

（お願い）ＪＡ晴れの国岡山 山手直売所

ＪＡの直売所ではすべての出荷物に対して「生産日誌」の提出をお願いしています。

～背景～

- ２０００年代初頭、グローバル経済の下、輸入食品の安全性に次々と問題発覚！！
 - ・ＢＳＥ問題 牛肉 輸入規制
 - ・中国産冷凍ホウレンソウ・冷凍うなぎ・冷凍ギョーザ・粉ミルク etc・・
 - ・日本国内でも食品に関わる事件が頻発（牛肉偽装・産地偽装・銘柄偽装・・・）



食の安全に対する社会的関心が急速に高まる

「トレーサビリティ（生産履歴追跡）」の概念が普及

～なぜ必要なのか？～

- 生産履歴（生産日誌）記帳の効能

① 食の安全の確保

食品衛生法・農薬取締法等に則り、消費者・生産者両者の安全確保を目的としています。

毎年、保健所の食品衛生監視員が農産物の残留農薬の検査を実施します。

～ ＪＡの直売所や選果場から農産物を抜き取り検査 ～



万が一、基準値を超える残留農薬が検出された場合、出荷停止はもとより回収処理や賠償対応やマスコミ報道など生産者個人としても、直売所としても大きなダメージを被ります。

② 安心の確保

生産日誌を保存・必要に応じて開示することで消費者の信頼を得ることができます。

また、生産者自身も自らの管理を確認し、自身の栽培に活かすことができます。

③ 農薬事故防止・被害回避

誤った使用法にいち早く気付くきっかけにもなるとともに、万一覚えのない農薬成分が検出された場合でも、防除記録があれば問題解決の糸口を探すことができます。

栽培記録・防除記録を正確に記帳し、チェックすることで直売所産品の安心・安全を高めましょう。

2. 生産日誌を提出したが出荷できない！ なんて？

① **作物に登録がない**（農薬ラベルに記載されている作物にしか使用できません）

② **農薬の適用作物名の解釈の違い** 農薬登録の豆類（種実）、豆類（未成熟）など。

- ・農薬を使う前に、「作物群」分類表などで適用作物を十分に確認してください。使用できるかどうかわからない場合は営農指導員などに確認してから農薬を使用してください。

（例）以下の場合使用できる農薬が異なる場合があります。

トマト と ミニトマト

とうもろこし（穀類） と ヤングコーン（野菜類）

だいず：豆類（種実） と えだまめ：豆類（未成熟）

いんげんまめ：豆類（種実） と さやいんげん：豆類（未成熟）

ブロッコリー と 茎ブロッコリー など

③ **間引き菜として食する作物に、粒剤などの農薬（農薬ラベルに「つまみ菜、間引き菜には使用しない」等と記載がある農薬）を使用している。**

- ・作物に登録があり注意書きがない場合、農薬を使用しても法律上問題はありますが、山手直売所では、間引きの段階で農薬を使用された場合は食品衛生法にかかる可能性があるため間引き菜での出荷は遠慮していただきます。

（例）**オルトラン粒剤を使用した だいこんの間引き菜は出荷できません。（食用不可）**

「だいこん」に登録がある農薬でも、『間引き菜、つまみ菜に使用しない』等の注意事項があれば、その農薬を使用しただいこんの間引き菜やつまみ菜などは収穫してはいけません。

④ **登録失効している農薬でかつ有効期限を過ぎている農薬を使用している。**

- ・失効農薬や製造中止農薬は使用しないでください。失効農薬は早めに適正に処分してください。（JA では、年 1 回、廃棄農薬の処分を受け付けております）

⑤ **登録のない除草剤**を使用している。（殺虫剤、殺菌剤と同じ考え方）

⑥ **農薬の使用回数が登録よりも多い。**（農薬使用回数は作物によって異なります）

- ・複数の有効成分を含む農薬や農薬名が異なっても有効成分が同じ農薬がありますので、別々の使用回数と考えるしないでください。使用回数が合算されますので注意してください。

（例）複数の有効成分を含む農薬

プロポーズ、バトファイター、リドミルゴールド MZ など

農薬名が異なっても有効成分が同じ農薬

ジマンダイセンとペンコゼブ、スタークルとアルバリン、

オルトランとジェイエース、バスタとザクサ など

検収印

記入例

生産日誌（栽培・出荷・防除記録） J A 晴れの国岡山 山手直売所

提出日 令和●年●●月●●日

山手直売所		栽培履歴			
生産者名	晴国 太郎	生産者番号	●●●●●	電話番号	0866-●●-●●●●
住所	総社市●● ●●番地				
品目	甘長とうがらし	品種	伏見甘長		
栽培圃場名(地番等)	総社市●● ●●番地	面積	1 a (アール)		
野菜	●●●●●	果樹	●●●●●	花卉	●●●●●
栽培様式	ハウス・トンネル 露地	栽培様式	ハウス・トンネル・露地	栽培様式	ハウス・トンネル・露地
播種日	令和 年 月 日	発芽始め	令和 年 月 日	播種日	令和 年 月 日
定植日	令和 5 年 4 月 20 日	開花始め	令和 年 月 日	定植日	令和 年 月 日
種子・苗表示 (※苗の場合は「苗生産に使用した農薬名」、種子の場合は「種子袋裏に記入してある農薬名」を記入する。)					
出荷始め	令和 5 年 6 月 25 日	収穫終り	令和 5 年 7 月 17 日(予定でもよい)		

施肥記録

項目	月・日(天気)	肥料名	施用量(kg/㎡)	その他・備考
基肥	4月5日(晴れ)	すずらん堆肥	200 kg	
	4月5日(晴れ)	苦土セルカ2号	20 kg	
	4月13日(晴れ)	JA 野菜の肥料	15 kg	
	月 日 ()			
	月 日 ()			
追肥	5月5日(晴れ)	国産化成肥料 14-14-14	2kg	
	5月20日(晴れ)	トミー液肥	500ml/水 200 ㍓	400 倍液 土壌灌注
	6月5日(晴れ)	メリット青	400ml/水 200 ㍓	500 倍液 葉面散布
	月 日 ()			
	月 日 ()			

【作業及び防除記録】※農薬使用は使用の有無を必ず記入

作業及び防除日(天気)	作業内容・薬品名	倍率	施用量	対象病虫害等	時期・総使用回数
4月20日(晴れ)	ダイアジノン粒剤5		0.4 kg	ネキリムシ類	定植時、1回
4月20日(晴れ)	スタークル粒剤		1g/1株	アブラムシ類	定植時、1回
5月10日(晴れ)	アティオン乳剤	2000 倍	10 ㍓	アブラムシ類	1回目
5月20日(晴れ)	トリフミン水和剤	4000 倍	20 ㍓	うどんこ病	1回目
5月20日(晴れ)	ハイテンパワー	5000 倍	20 ㍓	展着剤	
6月25日(晴れ)	収穫始め				
6月26日(晴れ)	トリフミン水和剤	4000 倍	20 ㍓	うどんこ病	2回目
6月28日(晴れ)	収穫				
7月1日(晴れ)	ザクザ液剤		30ml/10 ㍓	1年生雑草	1回目
7月3日(晴れ)	収穫				
7月17日(晴れ)	収穫終了				

※ 出荷日の3日前までに提出して下さい。(繁忙期には遅れる事がありますので早めに提出して下さい)

※ 必ず保管をしておいて下さい。確定済印の商品のみ出荷して下さい。

農薬のローテーションを組む場合には、

- ①殺虫剤はカーバメート系や有機リン系、ネオニコチノイド系などよく「〇〇系」と呼ばれていますが、作用機構ではなくその下のサブグループを指しているので注意が必要です。

(例) カーバメート系と有機リン系の RAC コードは「1A」と「1B」で同じ作用機構なのでしっかりと IRAC コードを確認するようにしましょう。

殺虫剤 (抜粋)

IRAC	主な農薬名 (例) (剤型省略)
1A	ランネート
1B	オルトラン、ジェイエース、スミチオン、マラソン、エルサン
3A	トレボン、アディオン
4A	モスピラン、ダントツ、スタークル、アルバリン、アドマイヤー、ベストガード、アクタラ
6	アフアーム、アニキ、コロマイト
9B	チェス、コルト
13	コテツ
14	パダン
15	カスケード、マッチ
16	アブロード
23	モベント
28	ブレバソン、フェニックス、ベリマーク、プリロツソ、ベネピア、ヨーバル
29	ウララ
30	グレーシア
UN	ブレオ

- ②殺菌剤の場合にも異なる数字の農薬を選ぶのが原則です。

殺菌剤の場合には FRAC コードの分類表に耐性についての情報も記載されているので選択の参考にしましょう。

(例) M：多作用点接触活性：一般的に耐性リスクは低いと考えられる。

殺菌剤 (抜粋)

FRAC	主な農薬名 (例) (剤型省略)
4	リドミル
31	スターナ
1	ベンレート、トップジンM
7	カナメ、アフェット、パレード
11	アミスター、メジャー、ストロビー
21	ランマン
24	カスミン
2	ロブラール
14	リゾレックス
3	トリフミン
40	プロポーズ・ベトファイターの1成分、レーバス
M●	Zボルドー、ジマンダイセン、アントラコール、オーソサイド、ダコニール、ベルコート、モレスタン